ＡＩ棋譜解説
（ブック印刷サンプル）

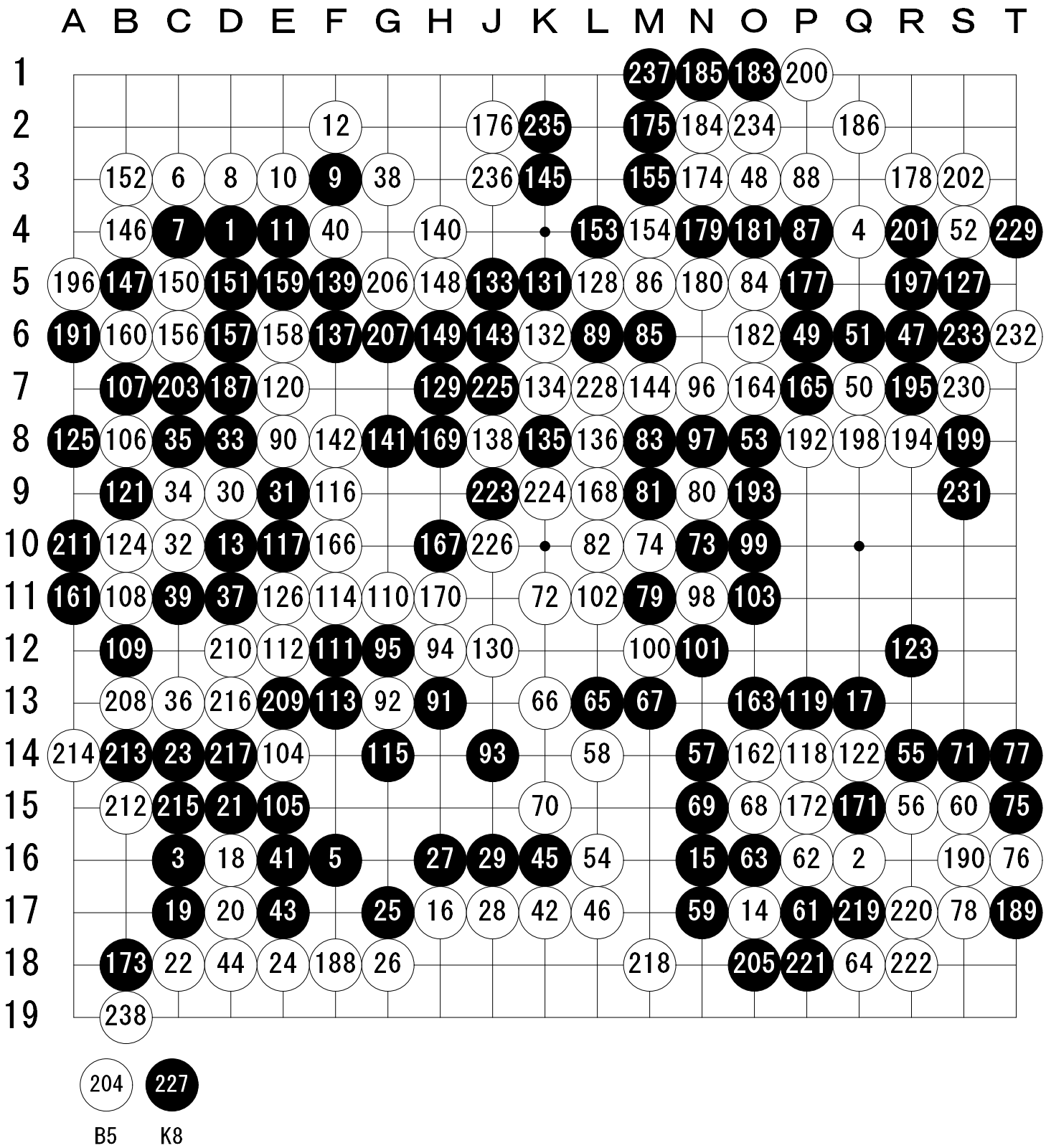
対局日時:　　対局名:　AlphaGo VS AlphaZero

対局設定:　コミ:7.5目 時間:120分

対局者(黒):　AlphaGo Master　　対局者(白):　AlphaGo Zero

結果:　白中押勝ち　　手数:　238

総譜(1～238)

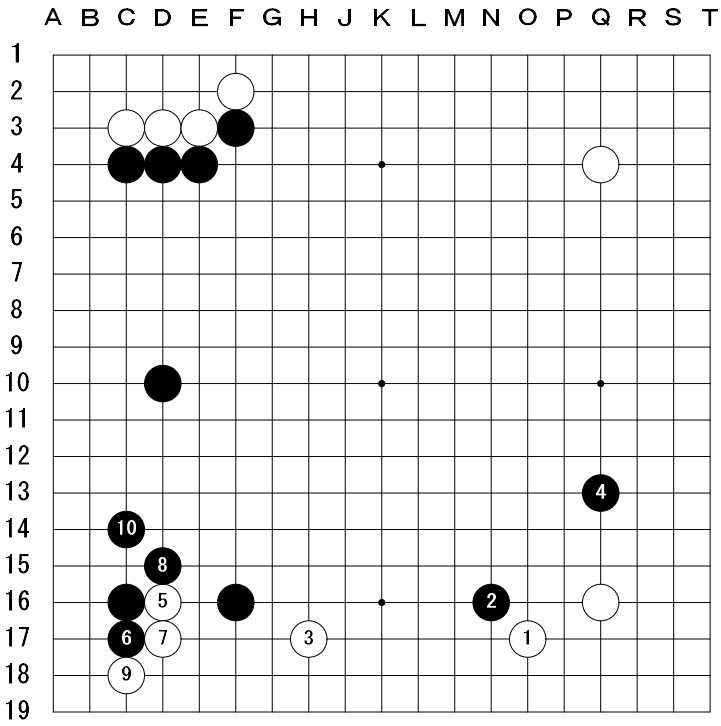


【概要】

ここは概要を入れることができます。

。。。。

【メモ】



【メモ】

【解説】

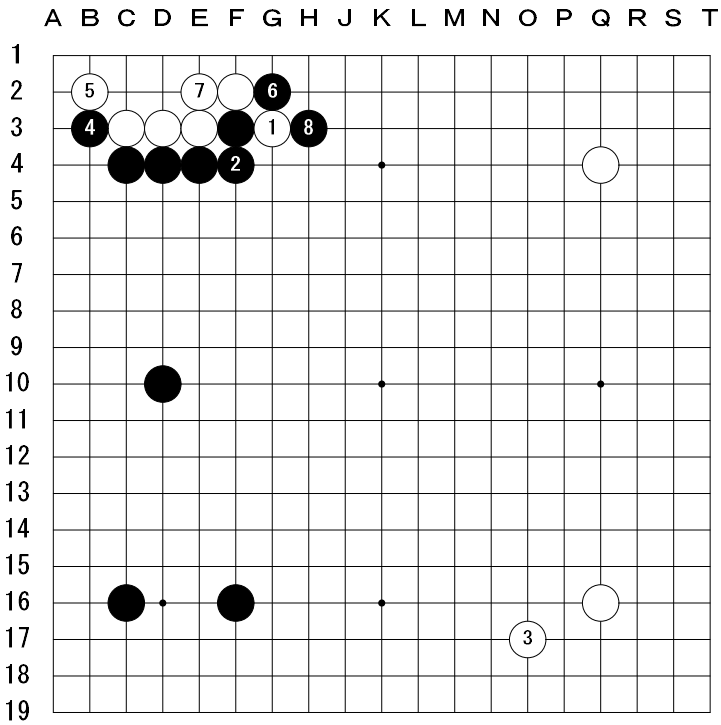
メイン図

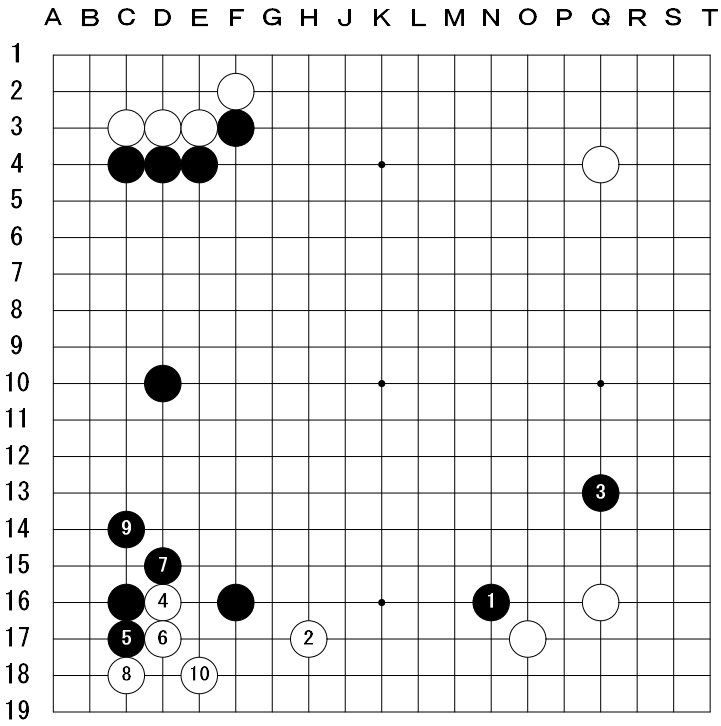
❷ 下辺を囲いたい気持ちなら〇と打ちそうだが、カタツキは碁盤全体を見ている。
③ どうもカタツキ関係の石は、どちらから打っても大差無い。ということらしい。
❹ Masterの新趣向キタ。今までは右上隅の三々だった。
⑤ ここでこのツケ！黒Aと打たれれば白Bと攻撃するか、白Cと守るか、と反応するのが人間の思考だと思う。
❻ Aでなくサガリで応じた。
❽ 結局手順は違えども同じ図になった。

変化図(A)

① みんな大好き先手のアタリ。気になる方も多いだろう。
❷ このアテを打った後はA等ともう1手必要で、後手を引く気持ちでなくてはならない。
③ アタリ一本打って手抜きという訳にはいかない。
❻ この時に〇の交換が損になるのだ。
❽ シチョウに取られて白不利の結果となる。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

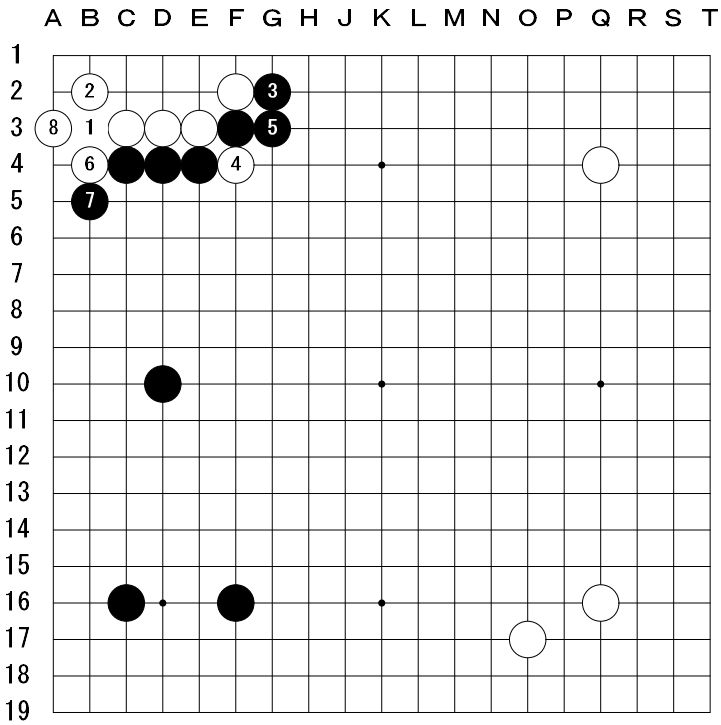
メイン図

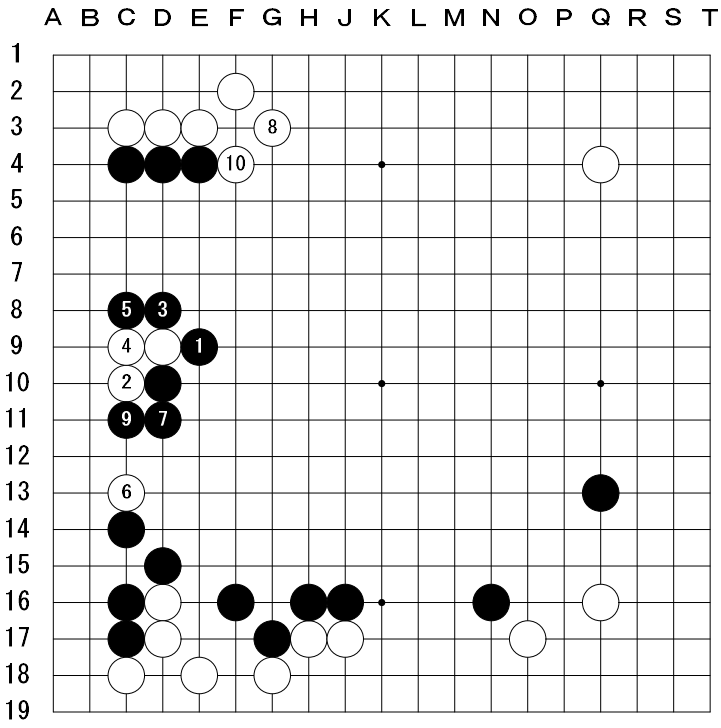
❶ 下辺を囲いたい気持ちなら○と打ちそうだが、カタツキは碁盤全体を見ている。
② どうもカタツキ関係の石は、どちらから打っても大差無い。ということらしい。
❸ Masterの新趣向キタ。今までは右上隅の三々だった。
④ ここでこのツケ！黒Aと打たれれば白Bと攻撃するか、白Cと守るか、と反応するのが人間の思考だと思う。
❺ Aでなくサガリで応じた。
❼ 結局手順は違えども同じ図になった。

変化図(A)

❶ 左上を黒から打つ場合、Aノビの他にハネが有力だ。
❸ 二段バネが手筋となる。ここで白Aは悪手となる。
④ 抑え込まれるのは仕方ないので、こちらに傷をつける。
⑧ 黒は○の線を止めたプラス。白は▲の傷を残した事を主張する進行になる。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

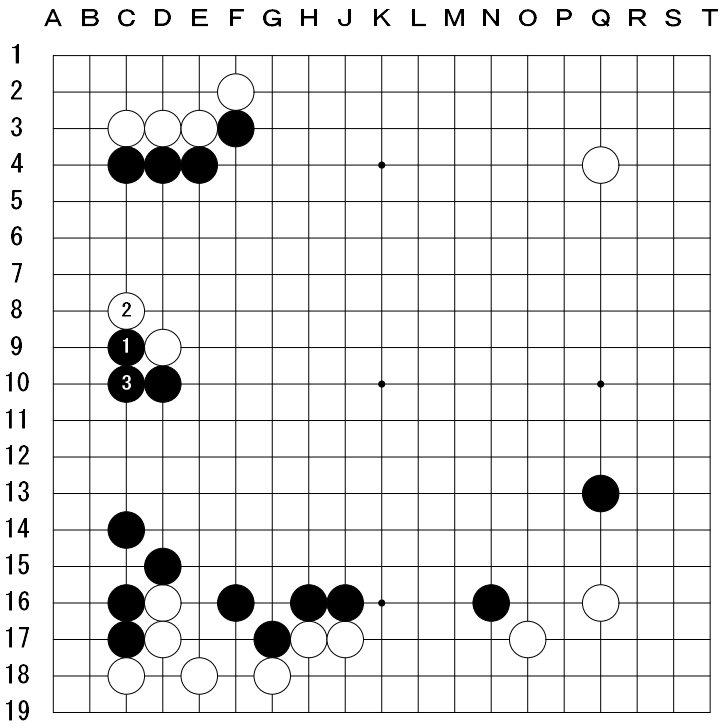
メイン図

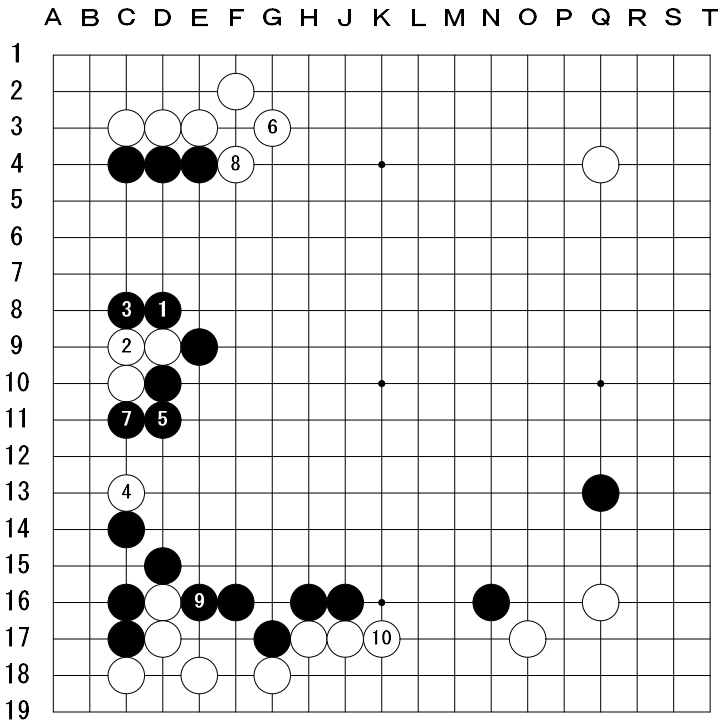
❶ 私も上からハネたい。
② サバキの手筋。
❺ まとめて包囲して攻める。
⑥ ！サバキはツケから、とは言うものの、これは硬い所に張り付く感じで、とても気がつかない手だ。
⑧ ここで微妙なアテ。
❾ 構わず左辺を取りきった。
⑩ 雰囲気は伝わるものの、このフリカワリの必然性を私は見つける事が出来ない。

変化図(A)

❸ 左下の強力な厚みから見ればAやB付近に狙いは無い。左辺は堅めて惜しくない場所だ。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

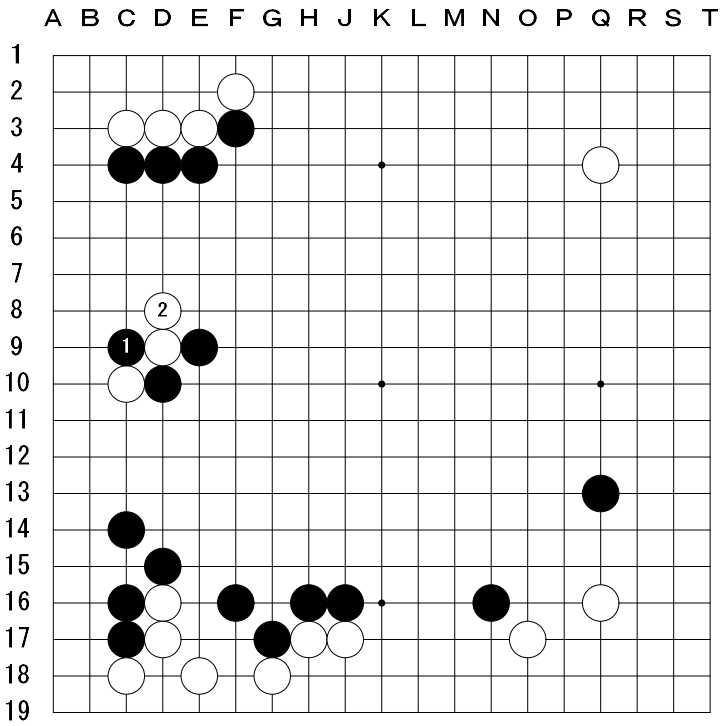
メイン図

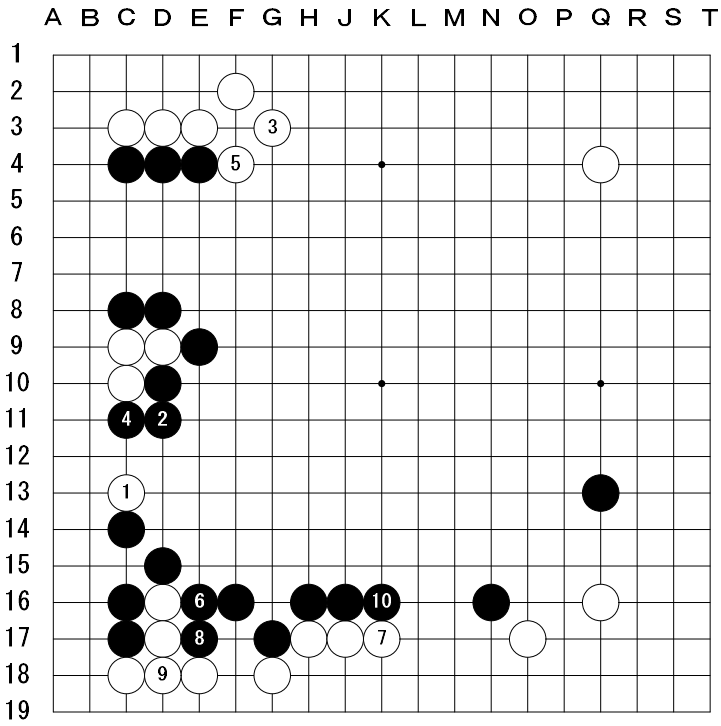
❸ まとめて包囲して攻める。
④ ！サバキはツケから、とは言うものの、これは硬い所に張り付く感じで、とても気がつかない手だ。
⑥ ここで微妙なアテ。
❼ 構わず左辺を取りきった。
⑧ 雰囲気は伝わるものの、このフリカワリの必然性を私は見つける事が出来ない。
❾ まだAなど大場が多く残っているのに、下辺を細かく追求していく。

変化図(A)

② 黒のキリはサバキを楽にさせる事が多い。〇が逆に黒の断点を衝いている。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

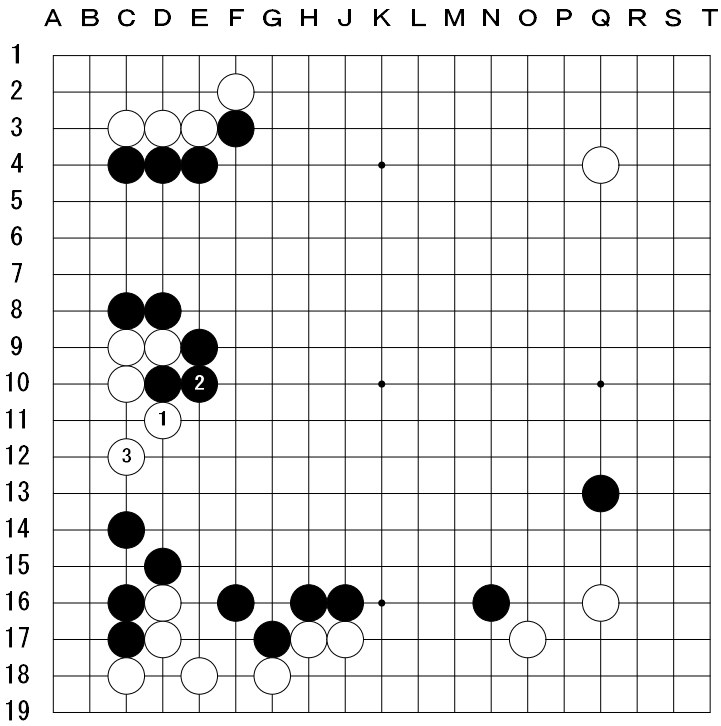
メイン図

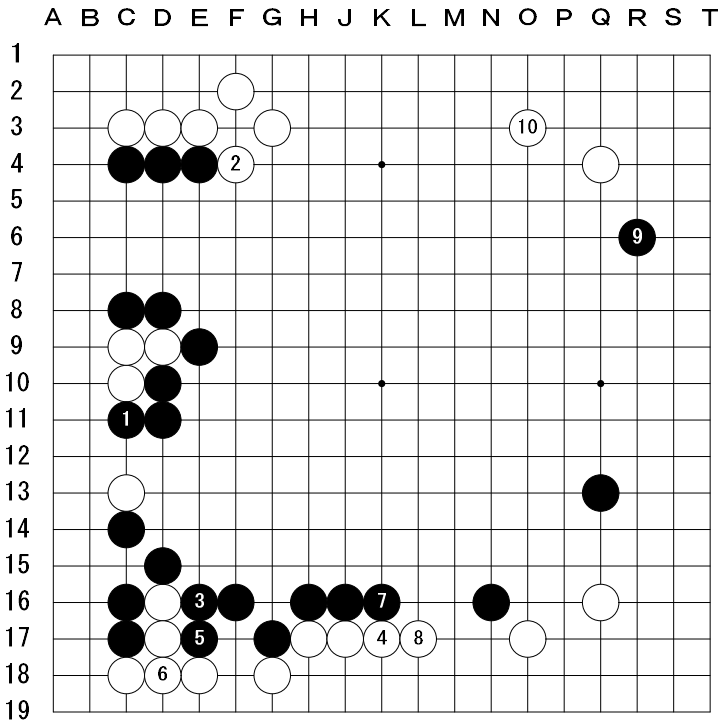
① ！サバキはツケから、とは言うものの、これは硬い所に張り付く感じで、とても気がつかない手だ。
③ ここで微妙なアテ。
❹ 構わず左辺を取りきった。
⑤ 雰囲気は伝わるものの、このフリカワリの必然性を私は見つける事が出来ない。
❻ まだAなど大場が多く残っているのに、下辺を細かく追求していく。

変化図(A)

③ 通常はこれくらいを想定する。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

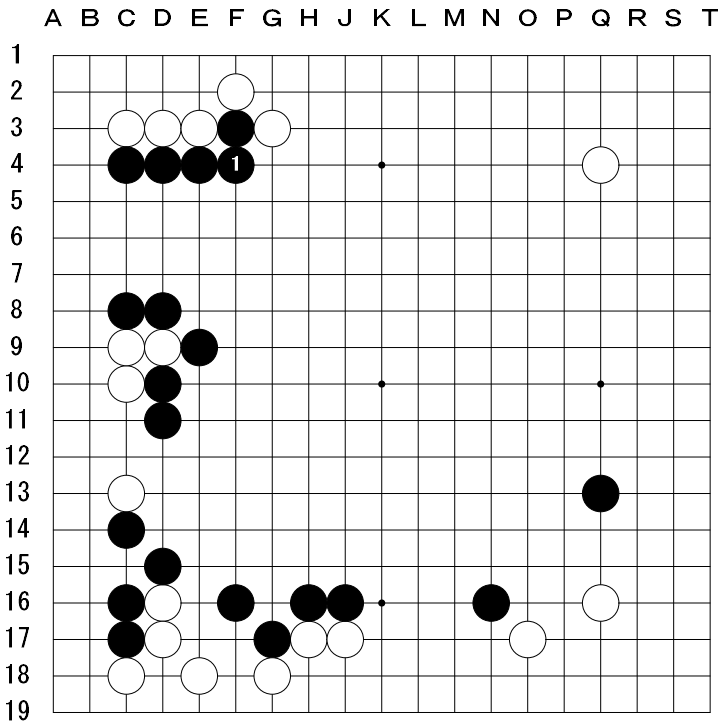
メイン図

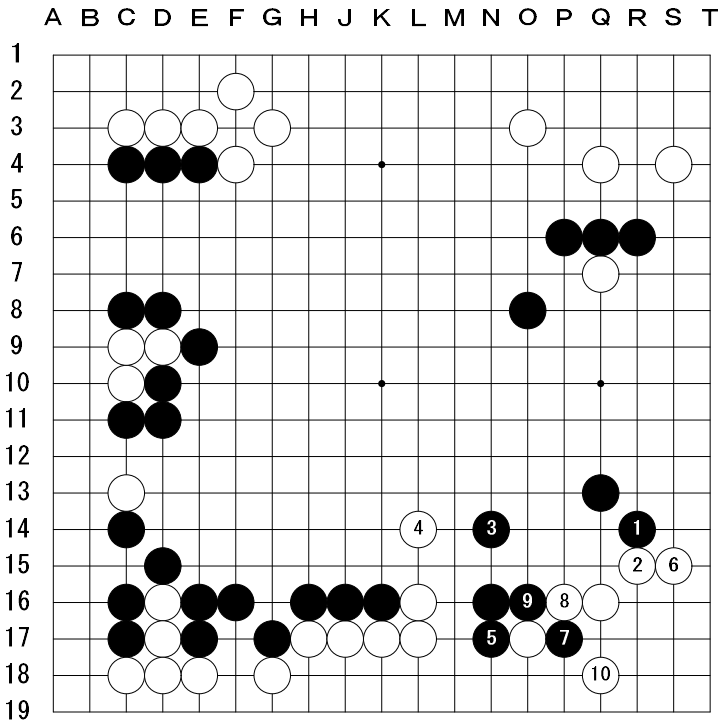
❶ 構わず左辺を取りきった。
② 雰囲気は伝わるものの、このフリカワリの必然性を私は見つける事が出来ない。
❸ まだAなど大場が多く残っているのに、下辺を細かく追求していく。
⑧ ここまでを黒は利かしと見たわけだ。
⑩ 私なら高く受ける。左上が強いのと、黒の中央を牽制する意味でも。

変化図(A)

❶ 受けるとどうするつもりなのか。ちょっと予想できない。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

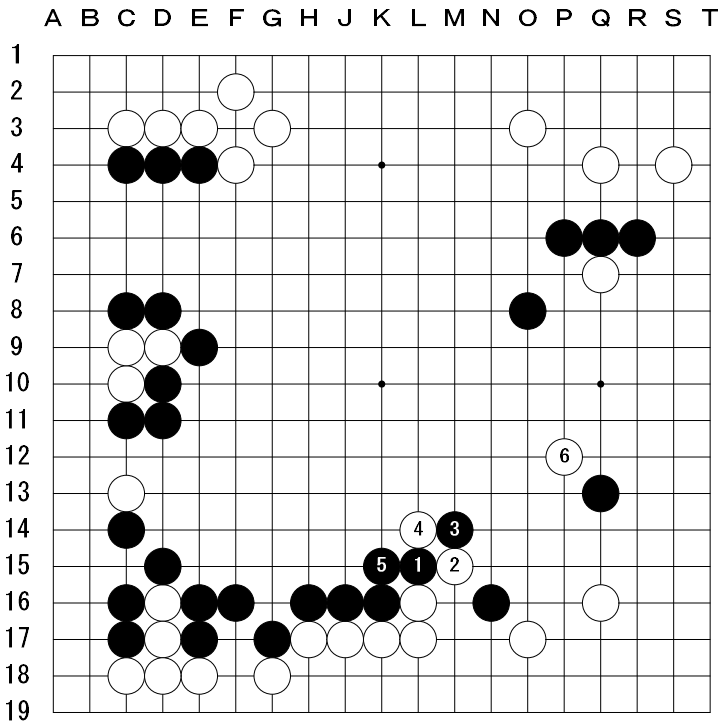
メイン図

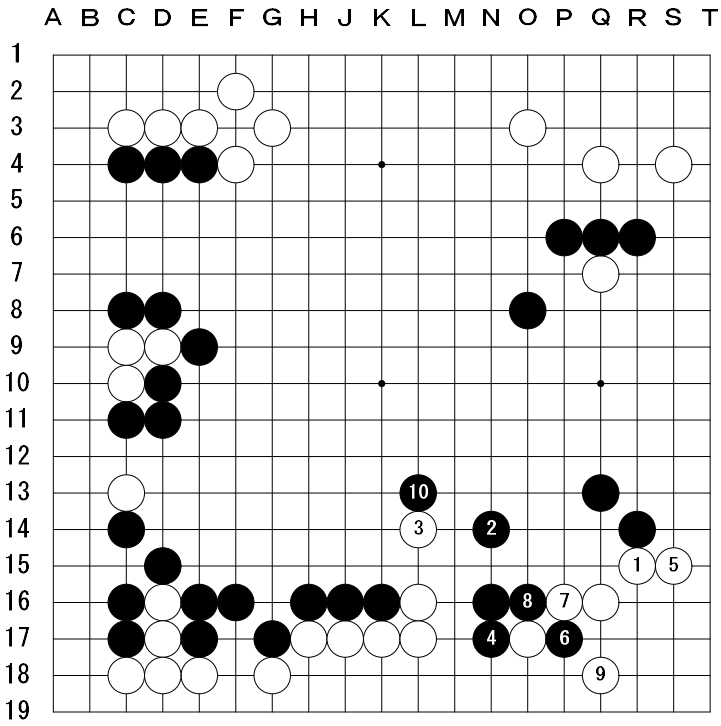
❶ 右辺を地にしようとしている。
② 受けるのか・・Zeroは隅を重視する。
❸ Aよりも硬い作戦。
❺ 三々を狙う。
⑥ 渋い受け。
⑩ しっかり守った。

変化図(A)

❶ オサエもありそうだ。
❸ この線を止めるのは大きそうに見える。
⑥ AB付近の利きを活かして何かやられそうな感じはある。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

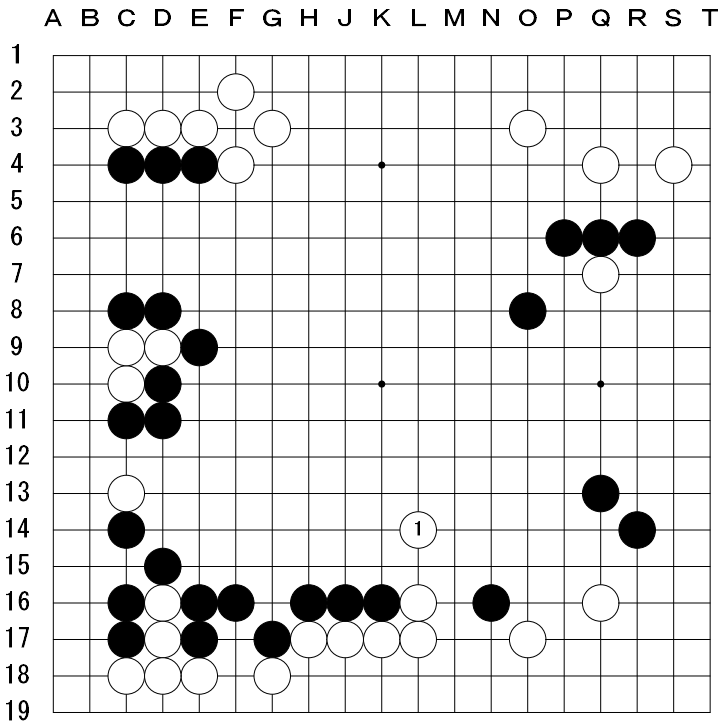
メイン図

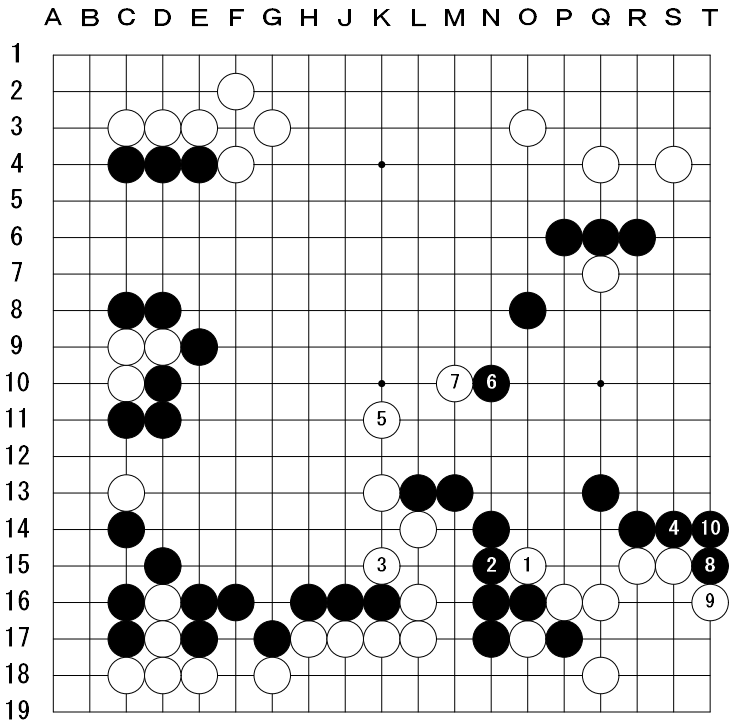
① 受けるのか・・Zeroは隅を重視する。
❷ Aよりも硬い作戦。
❹ 三々を狙う。
⑤ 渋い受け。
⑨ しっかり守った。

変化図(A)

① 手の流れからすればトビだろう。Aは普通そう言う意味だ。

変化図(A)





【解説】

メイン図

① 洒落た応手打診の手筋。
③ ○が右辺黒を少し薄くしている。
❻ しっかり囲った。
⑦ もう中に入る手は無いので外から利かす。

変化図(A)

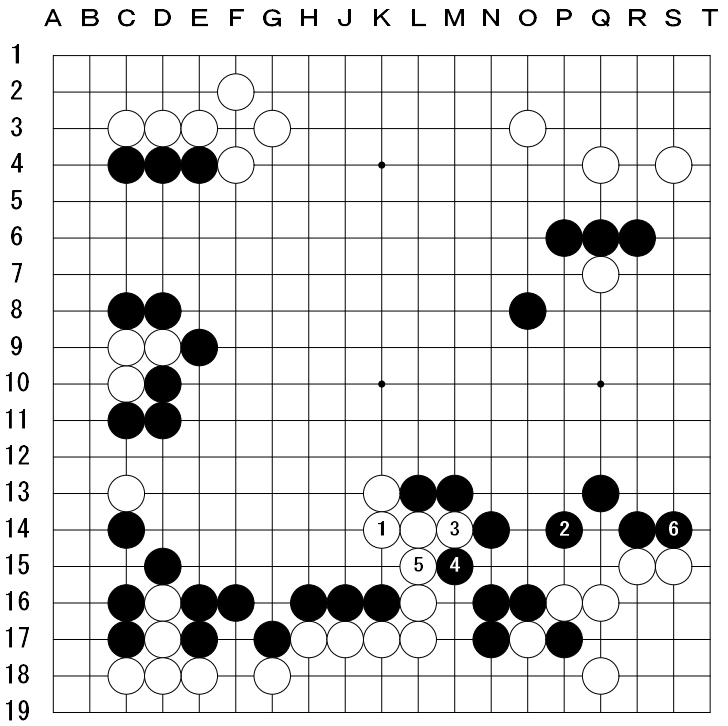
① ワリコミの切断の具合がある。
❷ 最低でもここが先手になる。
❻ 右辺が確定しやすくなる。

変化図(B)

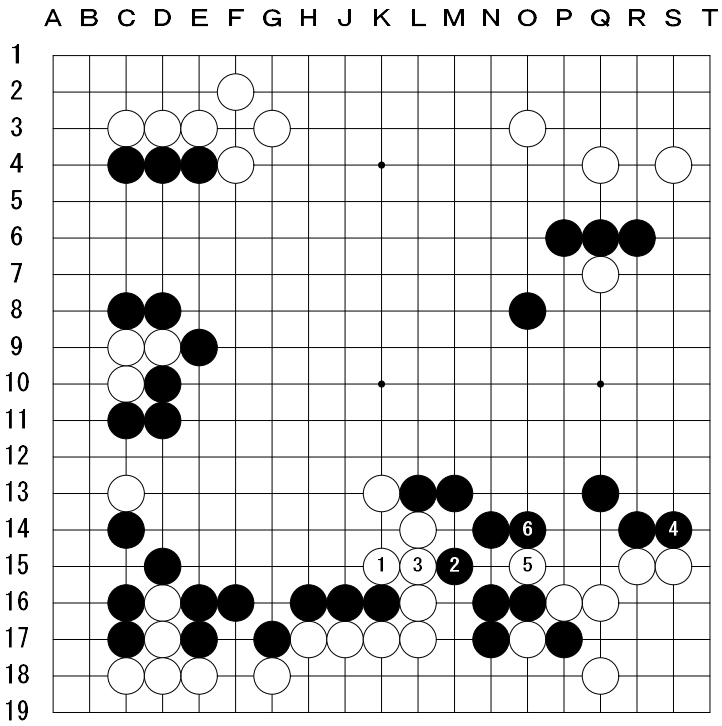
① 一番硬い連絡の手。
❻ この手で黒Aと打たせたことになるのが実戦の結果だ。

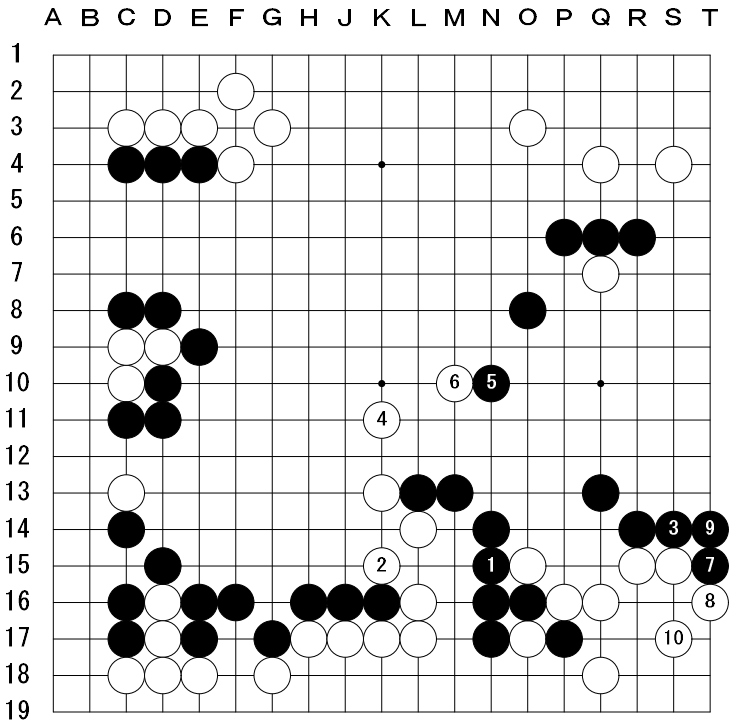
【メモ】

変化図(A)



変化図(B)





【メモ】

【解説】

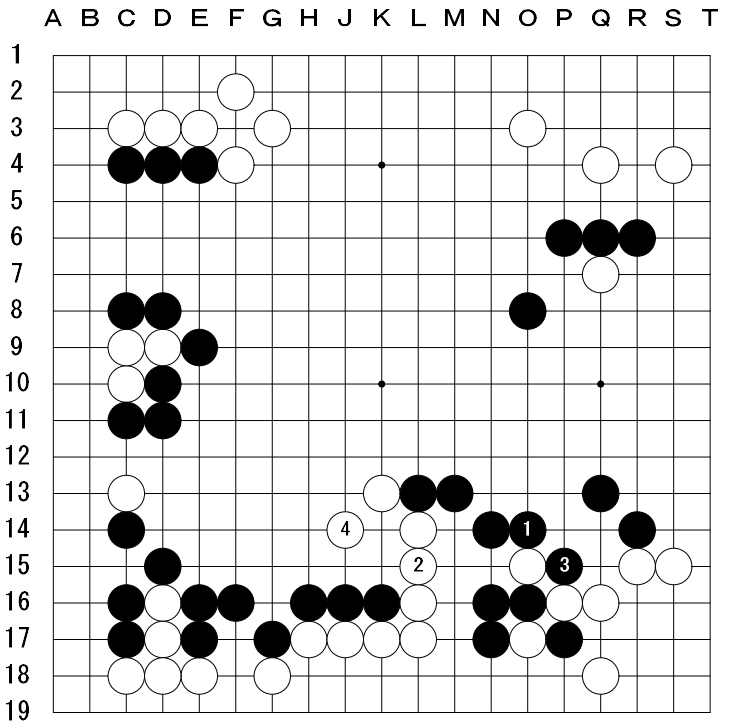
メイン図

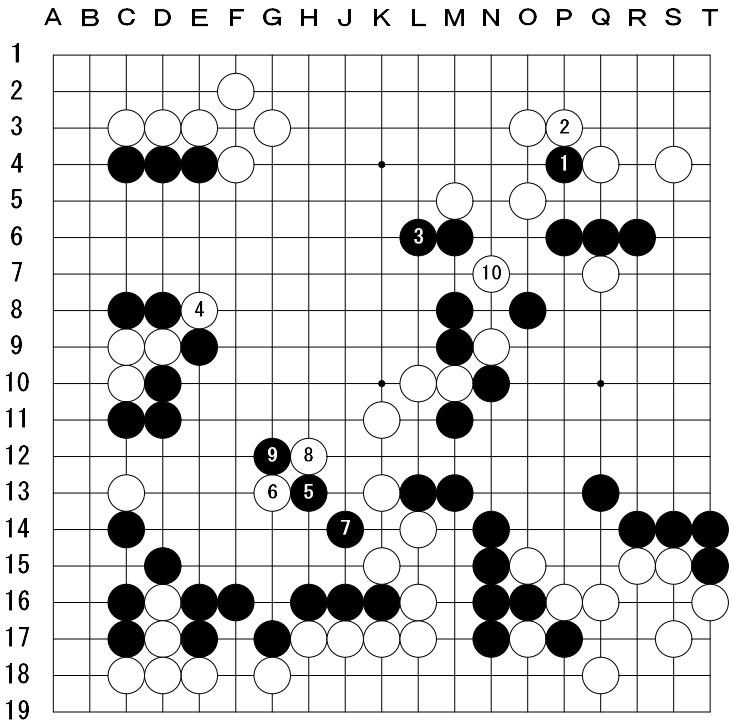
② ○が右辺黒を少し薄くしている。
❺ しっかり囲った。
⑥ もう中に入る手は無いので外から利かす。

変化図(A)

❶ 右辺の厚さで言えばこちらで応じたい。
② Aをみてツギが先手
④ カケツギで効率良く連絡できる。左の地を減らせる上黒Aに白Bが打てるのも大きい。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

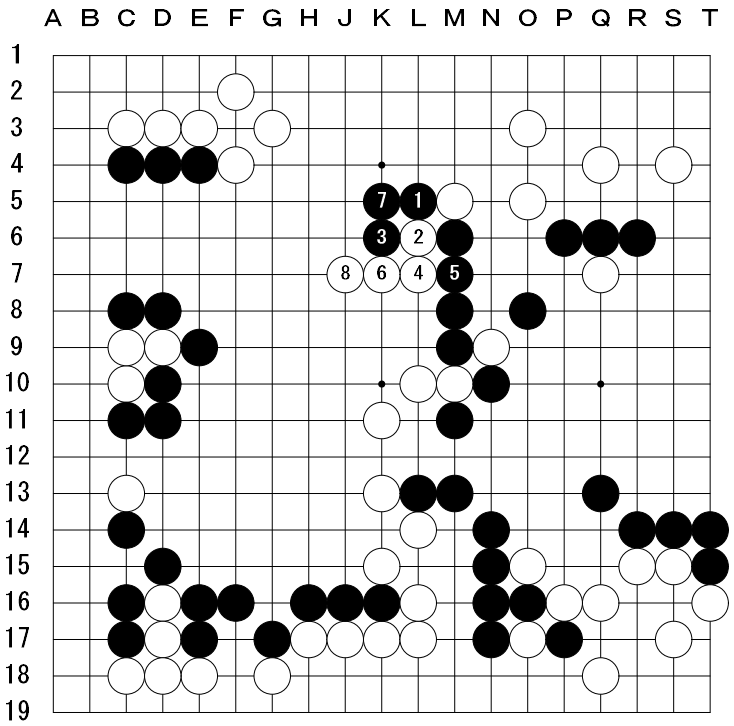
メイン図

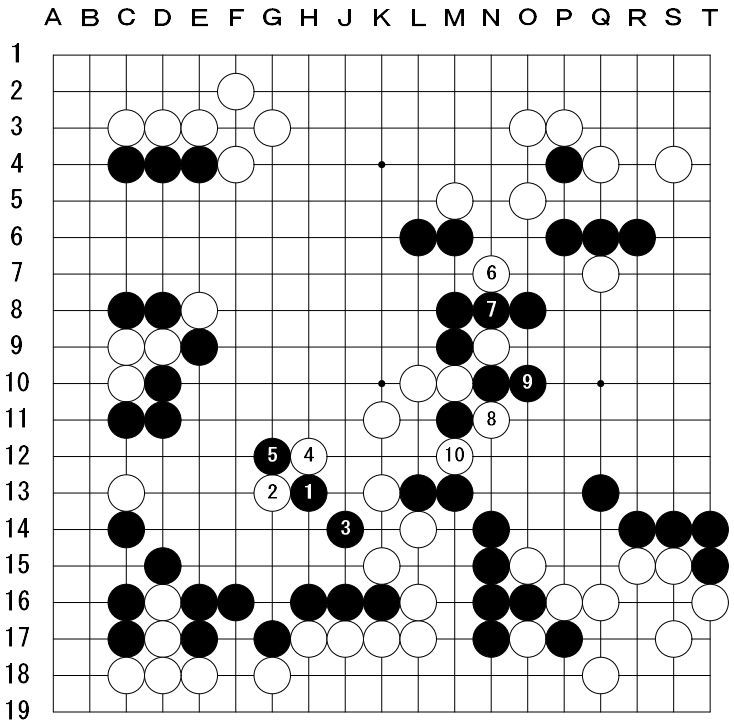
④ 今度は左辺に味をつける。
❺ 気合？の手抜き。
⑥ Zeroはこういう所が異常に鋭い。
❼ 黒の権利だったノゾキ
⑧ それを間に合わさない。
❾ もはや手抜きされそうなのに、それでもノゾいたのが不思議だ。
⑩ ここで右側から決めて行く。

変化図(A)

② ハネにはキリで、Aの味がものを言いそうだ。
⑧ 白のポン抜きの威力で、逃げられそうにない。

変化図(A)





【メモ】

【解説】

メイン図

❶ 気合？の手抜き。
② Zeroはこういう所が異常に鋭い。
❸ 黒の権利だったノゾキ
④ それを間に合わさない。
❺ もはや手抜きされそうなのに、それでもノゾいたのが不思議だ。
⑥ ここで右側から決めて行く。

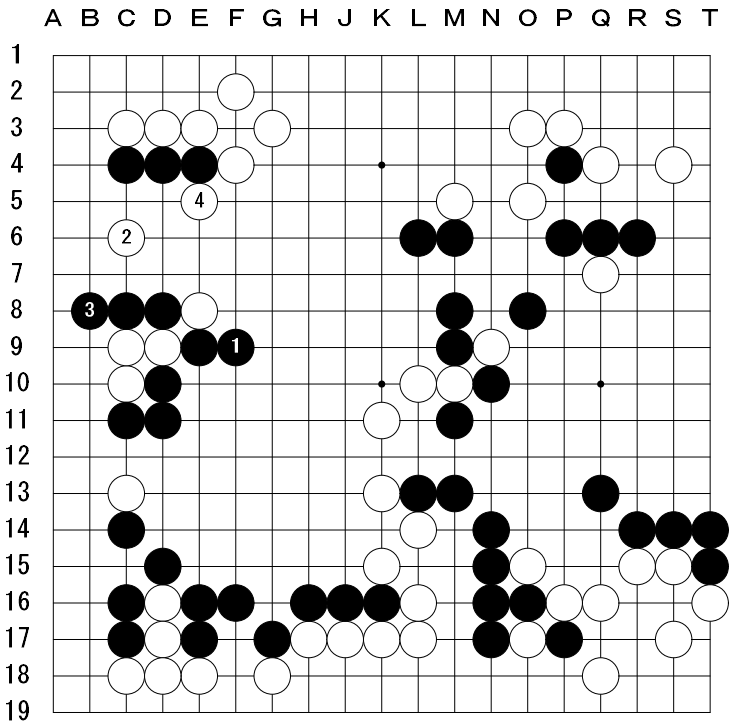
変化図(A)

❶ ノビが利かされなのは分かり易い。
④ この様な白の利益が残ってしまう。

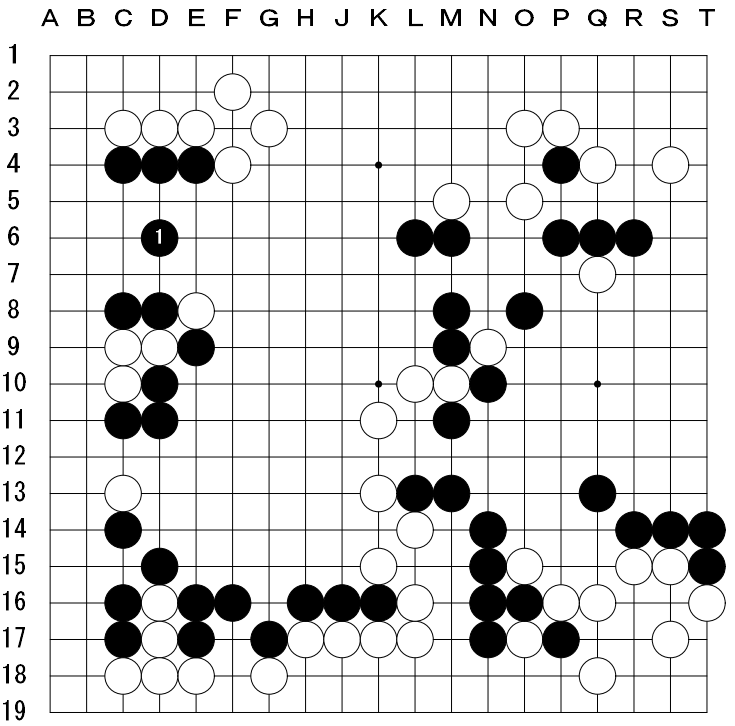
変化図(B)

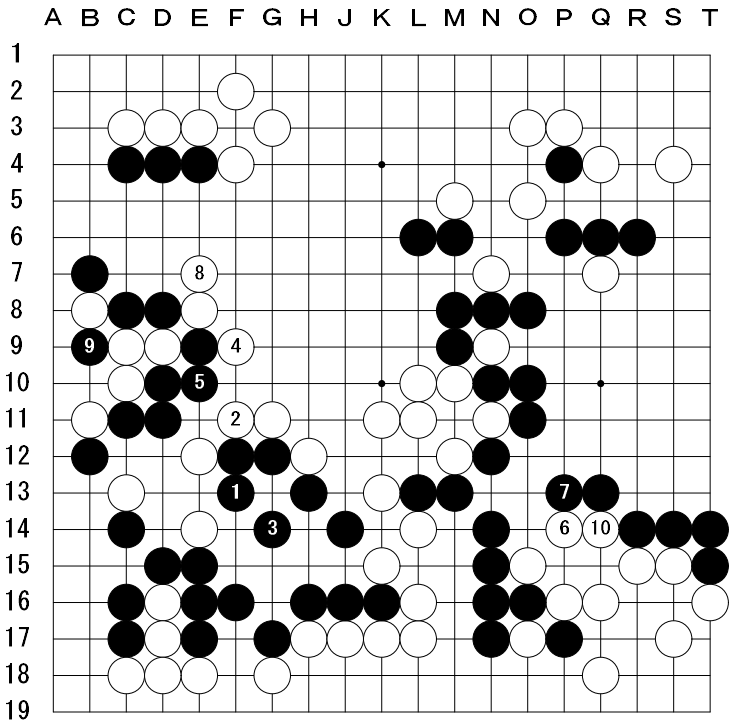
❶ これは最低でもAが打てる上、Bを動き出す手まで狙っている様な感じも受ける。

変化図(A)



変化図(B)





【メモ】

【解説】

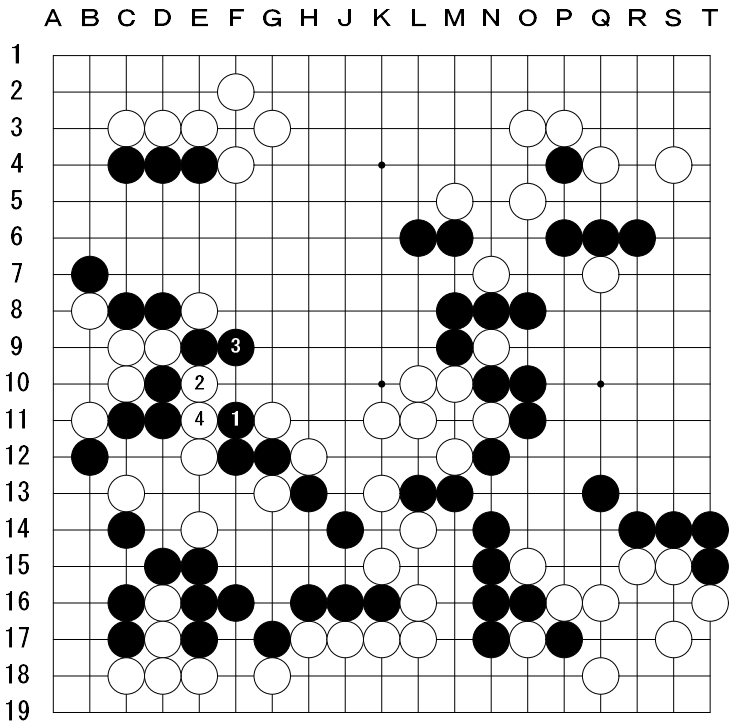
メイン図

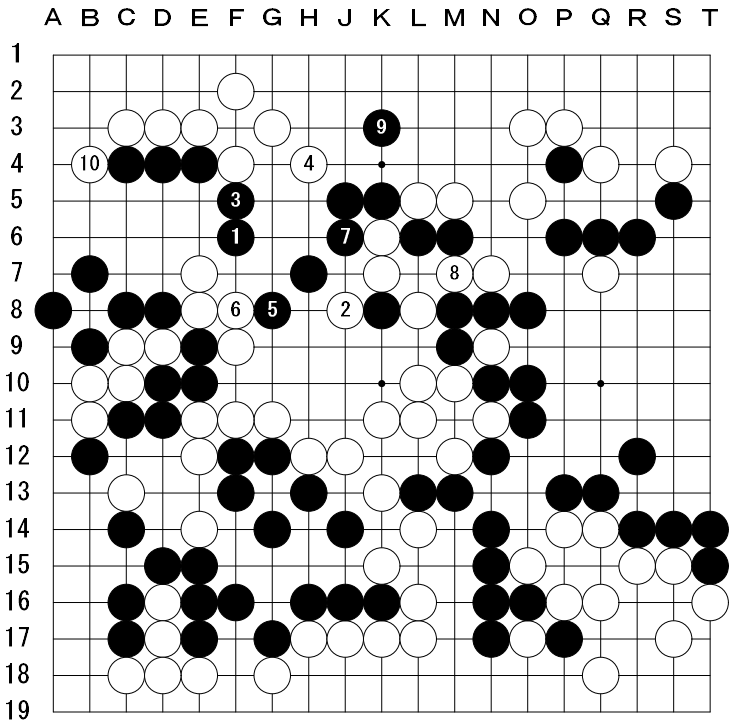
❺ 白が目いっぱいに利かして、ノゾキが完全に空振りとなっている。

変化図(A)

④ AB見合いで黒がツブレ。

変化図(A)





【解説】

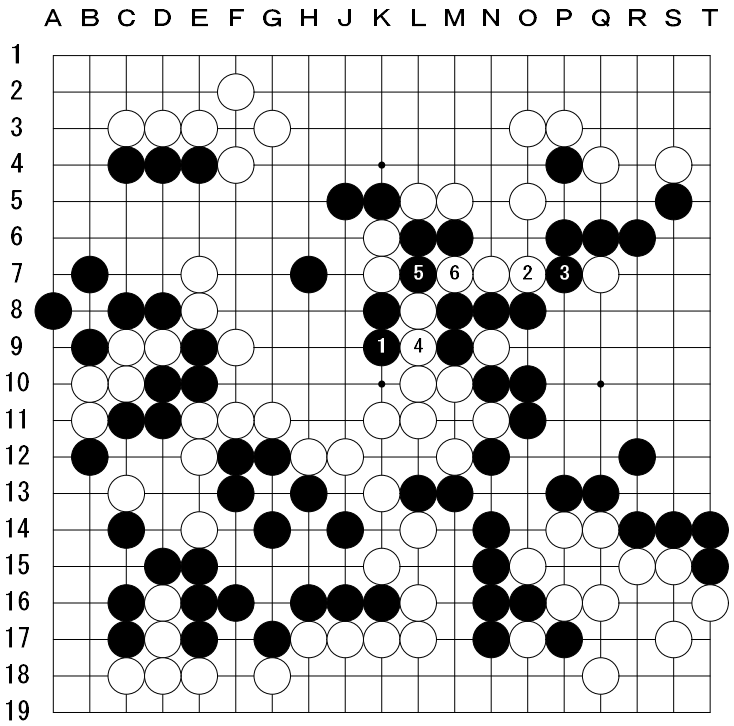
メイン図

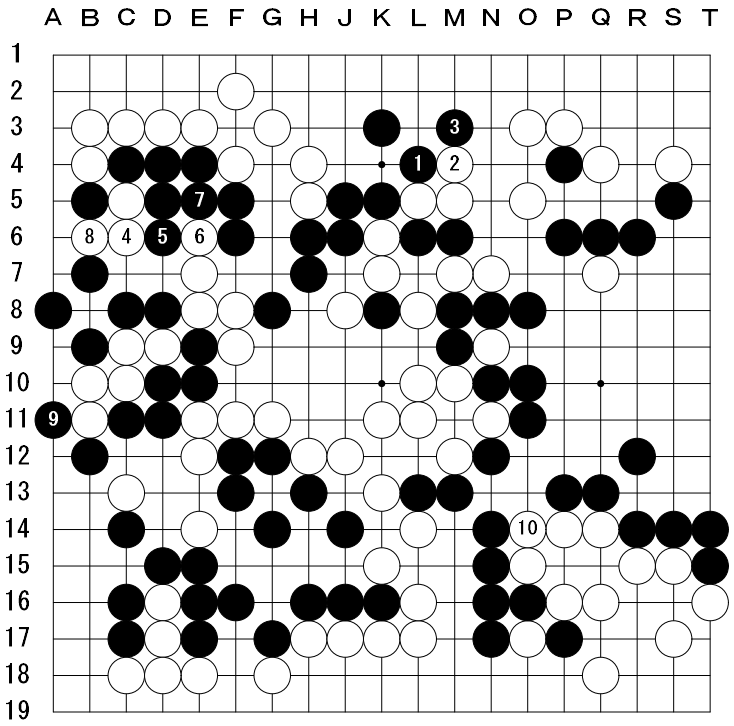
② 白は必ず取る必要があるわけではない。ゆとりを見せる。
④ Aから切断をみせる。
⑧ 厚い2子取り。

変化図(A)

【メモ】

変化図(A)





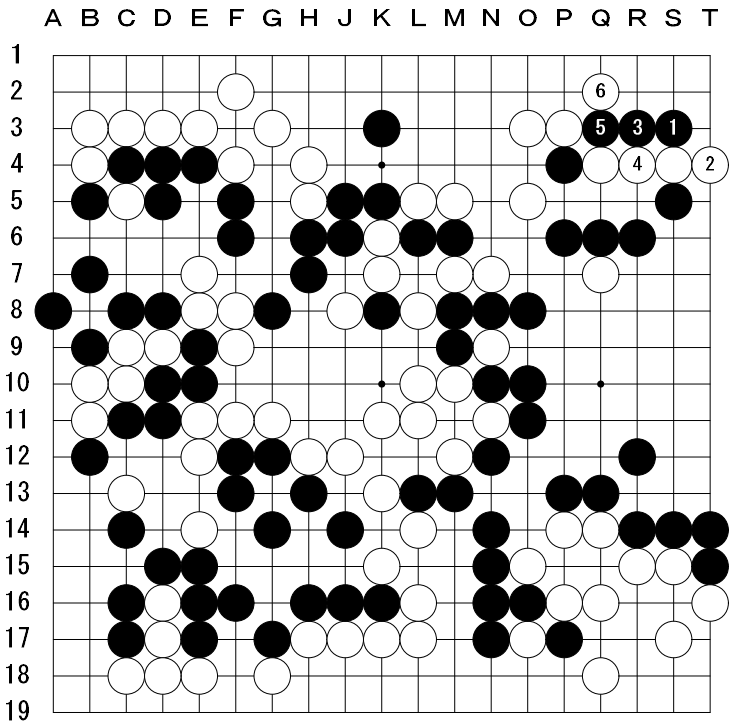
【メモ】

【解説】

メイン図

⑧ 儲けながらAを見せて、イジメている。

変化図(A)

⑥ これは手にならない。

変化図(A)